

試験報告書

令和 5 年 4 月 3 日

(株)ケイナン 金持工場 殿

先に御依頼のありました試験が
終了致しましたのでご報告申し上げます。

全国生コンクリート工業組合連合会
認定試験場第16号

新見生コン 協同組合 技術センター

〒718-0005 岡山県新見市上市8番地1
TEL (0867) 72-8500
FAX (0867) 72-8180
E-mail ashin@zennama.or.jp
ycmwk528@ybb.ne.jp

【全国生コンクリート工業組合連合会指定試験項目】

製品試験	1 圧縮強度及び曲げ強度	材料受入 管理試験	骨材試験	10 すりへり減量	
	2 スランプ		1 ふるい分け	11 安定性	
	3 空気量		2 粒形判定実績率	水質試験	
	4 軽量コンクリートの単位容積質量		3 密度・吸水率		1 懸濁物質の量
	5 塩化物含有量		4 有機不純物		2 溶解性蒸発残留物の量
設備管理 試験	1 静荷重検定	5 粘土塊量	3 塩化物イオン(Cl ⁻)量		
	2 ミキサ練り混ぜ性能	6 微粒分量	4 セメントの凝結時間の差		
	3 トラックアジテータ性能	7 密度1.95の液体に浮くもの	5 モルタルの圧縮強さの比		
	4 塩化物含有量測定器の検定	8 単位容積質量			
	5 ゴム硬度計の検定	9 塩化物量試験			

【全国生コンクリート工業組合連合会指定試験項目】

新技セ(試) G 230055 号

令和 5 年 4 月 3 日

骨材試験報告書

鳥取県日野郡日野町金持1583番地

(株) ケイナン 金持工場

殿



 全国生コンクリート工業組合連合会認定試験場第16号

新見生コン協同組合 技術センター

 センター長 川本 太 問

 岡山県新見市上市8番地1

 TEL 0867-72-8500

 FAX 0867-72-8180

 E-mail ashin@zennama.or.jp

御依頼の骨材試験結果は下記の通りです。

	試験方法	細 骨 材		試験方法	粗 骨 材	
種 類					1505A	
産 地					日野郡日野町	
粗 粒 率	JIS A 1102			JIS A 1102	6.53	
微 粒 分 量 (%)	JIS A 1103			JIS A 1103	0.9	
単位容積質量 (kg/L)	JIS A 1104			JIS A 1104	1.63	
実 積 率 (%)	JIS A 1104			JIS A 1104	61.0	
粒形判定実積率 (%)	JIS A 1104 JIS A 5005			JIS A 1104 JIS A 5005	59.9	
有 機 不 純 物	JIS A 1105					
表 乾 密 度 (g/cm ³)	JIS A 1109			JIS A 1110	2.69	
絶 乾 密 度 (g/cm ³)	JIS A 1109			JIS A 1110	2.67	
吸 水 率 (%)	JIS A 1109			JIS A 1110	0.65	
安 定 性 (%)	JIS A 1122			JIS A 1122	2.7	
粘 土 塊 量 (%)	JIS A 1137			JIS A 1137	0.09	
密度1.95に浮く粒子 (%)	ZKT 114			ZKT 114		
塩 化 物 (%)	JIS A 5308 A.10p					
すりへり減量 (%)				JIS A 1121	12.2	

備 考 ※試料は依頼者サンプリングの持ち込みによる。
 ※試験項目及び試験内容は依頼者の申し込みによる。
 ※無断で複製することを禁止します。

試験方法	JIS A 1103	【全国生コンクリート工業組合連合会認定項目】			
技七試験規格	B-2	粗骨材の微粒分量試験			
				新技七(試) G 230055 号	
試験年月日			令和 5 年 3 月 28 日		令和 年 月 日
試料	種類	1505A			
	産地	日野郡日野町			
	採取年月日	令和 5 年 2 月 14 日		令和 年 月 日	
	採取場所				
試験回数			1	2	1 2
容器の質量	(g)	①	235.2	235.4	
容器と洗う前の試料の乾燥質量	(g)	②	1818.5	1801.1	
洗う前の試料の乾燥質量	②-① (g)	m ₁	1583.3	1565.7	
容器と洗った後の試料の乾燥質量	(g)	③	1804.2	1786.8	
洗った後の試料の乾燥質量	③-① (g)	m ₂	1569.0	1551.4	
微粒分量(*)	(%)	A	0.9	0.9	
2回の試験の平均値			0.9		
平均値からの差(0.3%以下)			0.0		
備考					
注(*) $A = \frac{m_1 - m_2}{m_1} \times 100$					
<p>※試料は依頼者サンプリングの持ち込みによる。</p> <p>※試料内容は依頼者の申し込みによる。</p>					
試験者	岩佐 龍治				

試験責任者：谷岡 貴寿



試験方法		JIS A 1104	【全国生コンクリート工業組合連合会認定項目】				
技セ試験規格		B-3	粗骨材の単位容積質量及び実積率試験				
試験年月日			令和 5年 3月30日		令和 年 月 日		
試料	種類	1505A					
	産地	日野郡日野町					
	採取年月日	令和 5年 2月14日		令和 年 月 日			
	採取場所						
試験条件	試料の状態	絶乾					
	試料の詰め方	突き棒					
試験回数			1	2	1	2	
単位容積質量	容器の質量 (kg)	①	4.321	4.321			
	容器とガラスの質量 (kg)	②	5.623	5.623			
	容器とガラスと水の質量 (kg)	③	15.590	15.590			
	容器の容積 (l)	V	9.953	9.953			
	容器と容器中の試料の質量 (kg)	④	20.574	20.512			
	容器中の試料の質量 ④-① (kg)	m ₁	16.253	16.191			
	バットの質量 (kg)	⑤					
	バットと含水率測定のための試料の乾燥前の質量 (kg)	⑥					
	含水率測定のための試料の乾燥前の質量 ⑥-⑤ (kg)	m ₂					
	バットと含水率測定のための試料の乾燥後の質量 (kg)	⑦					
	含水率測定のための試料の乾燥後の質量 ⑦-⑤ (kg)	m _{ad}					
	単位容積質量の試験値 (kg/l)			1.63	1.63		
	2回の試験の平均値 (kg/l)	T		1.63			
平均値との差(0.01kg/l以下) (kg/l)			0.00				
実績率	試料の絶乾密度 (kg/l)	d _b	2.67				
	実績率の試験値 $\frac{T}{d_b} \times 100$ (%)		61.0	61.0			
	2回の試験の平均値 (%)	G	61.0				
備考	<p>・絶乾状態の試料を用いる場合又は含水率の測定を行わない場合は、次の式による。</p> $T = \frac{m_1}{V}$ <p>・気乾状態の試料を用いる場合又は含水率の測定を行った場合は、次の式による。</p> $T = \frac{m_1}{V} \times \frac{m_p}{m_2}$ <p>※試料は依頼者サンプリングの持ち込みによる。 ※試料内容は依頼者の申し込みによる。</p>						
試験者	岩佐 龍治						

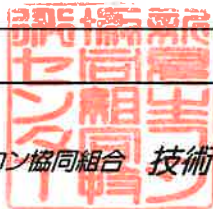


試験方法		JIS A 1104 JIS A 5005	【全国生コンクリート工業組合連合会認定項目】			
技七試験規格		B-4	粗骨材の粒形判定実積率試験			
試験年月日		令和 5年 3月 30日				
試料	種類	1505A				
	産地	日野郡日野町				
	採取年月日	令和 5年 2月 14日		令和 年 月 日		
	採取場所					
試験条件	試料の状態	絶乾				
	試料の詰め方	突き棒				
試験回数			1	2	1	2
単位容積質量	容器の質量 (kg)	①	4.321	4.321		
	容器とガラスの質量 (kg)	②	5.623	5.623		
	容器とガラスと水の質量 (kg)	③	15.590	15.590		
	容器の容積 (L)	V	9.953	9.953		
	容器と容器中の試料の質量 (kg)	④	20.256	20.254		
	容器中の試料質量 ④-① (kg)	m ₁	15.935	15.933		
	バットの質量 (kg)	⑤				
	バットと含水率測定のための試料の乾燥前の質量 (kg)	⑥				
	含水率測定のための試料の乾燥前の質量⑥-⑤ (kg)	m ₂				
	バットと含水率測定のための試料の乾燥後の質量 (kg)	⑦				
	含水率測定のための試料の乾燥後の質量⑦-⑤ (kg)	m _D				
	単位容積質量の試験値 (kg/L)		1.60	1.60		
	2回の試験の平均値 (kg/L)	T	1.60			
平均値との差 (0.01kg/l以下) (kg/L)		0.00				
粒形判定実積率	試料の絶乾密度 (kg/L)	d _D	2.67			
	粒形判定実積率 $\frac{T}{d_D} \times 100$ (%)	G	59.9			
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・絶乾状態の試料を用いる場合又は含水率の測定を行わない場合は、次の式による。 $T = \frac{m_1}{V}$ ・気乾状態の試料を用いる場合又は含水率の測定を行った場合は、次の式による。 $T = \frac{m_1}{V} \times \frac{m_D}{m_2}$ 					
	<ul style="list-style-type: none"> ※ 試料は依頼者サンプリングの持込による。 ※ 試料内容は依頼者の申し込みによる。 					
試験者	岩佐 龍治					

試験責任者：谷 岡 貴 寿

試験方法		JIS A 1110		【全国生コンクリート工業組合連合会認定項目】			
技セ試験規格		B-7		粗骨材中の密度及び吸水率試験			
				新技セ(試) G230055 号			
試験年月日				令和 5 年 3 月 29 日		令和 年 月 日	
試料	種類		1505A				
	産地		日野郡日野町				
	採取年月日		令和 5 年 2 月 14 日		令和 年 月 日		
	採取場所						
試験回数				1	2	1	2
表 乾 密 度	容器の質量 (g)	①	141.3	141.2			
	容器と表面乾燥飽水状態における試料の質量 (g)	②	1700.2	1714.1			
	表面乾燥飽水状態における試料の質量 ②-① (g)	m ₁	1558.9	1572.9			
	試料と金網かごの水中の見掛けの質量 (g)	m ₂	1367.6	1376.6			
	金網かごの水中の見掛けの質量 (g)	m ₃	388.1	388.1			
	試験で用いた水の温度 (°C)	-	18.0	18.0			
	試験温度における水の密度 (g/cm ³)	ρ _w	0.9986	0.9986			
	表乾密度 $\frac{m_1 \times \rho_w}{m_1 - m_2 + m_3}$ (g/cm ³)	D _s	2.69	2.69			
	2回の試験の平均値 (g/cm ³)		2.69				
	平均値からの差(0.01g/cm ³ 以下) (g/cm ³)		0.00				
絶 乾 密 度	容器の質量 (g)	③	141.3	141.2			
	容器と絶対乾燥状態の試料の質量 (g)	④	1690.3	1703.9			
	絶対乾燥状態における試料の質量 ④-③ (g)	m ₄	1549.0	1562.7			
	絶乾密度 $\frac{m_4 \times \rho_w}{m_1 - m_2 + m_3}$ (g/cm ³)	D _d	2.67	2.67			
	2回の試験の平均値 (g/cm ³)		2.67				
	平均値からの差(0.01g/cm ³ 以下) (g/cm ³)		0.00				
吸 水 率	吸水率 $\frac{m_1 - m_4}{m_4} \times 100$ (%)	Q	0.64	0.65			
	2回の試験の平均値 (%)		0.65				
	平均値からの差(0.03%以下) (%)		0.01				
備 考	※試料は依頼者サンプリングの持ち込みによる。 ※試料内容は依頼者の申し込みによる。						

試験者 岩佐 龍治



試験責任者：谷 岡 貴 寿

試験方法	JIS A 1122	【全国生コンクリート工業組合連合会認定項目】					
技セ試験規格	B-8	硫酸ナトリウムによる粗骨材の安定性試験					
		新技セ(試) G230055 号					

試験年月日		試料	種類	1505A	採取年月日	令和 5 年 2 月 14 日	
令和 5 年 4 月 3 日			産地	日野郡日野町	採取場所		
通るふるい	とどまるふるい	各群の質量 g	各群の質量分率 %	試験前の各群の質量 (m ₁) g	試験後の各群の質量 (m ₂) g	各群の損失質量分率 ⁽¹⁾ (P ₁) %	骨材の損失質量分率 ⁽²⁾ %
10 mm	5 mm	3087	48	300	294	2.0	1.0
15 mm	10 mm	2746	43	500	490	2.0	0.9
20 mm	15 mm	577	9	755	687	9.0	0.8
25 mm	20 mm	0	0	—	—	—	—
40 mm	25 mm						
合計		6410	100	—	—	—	2.7

備考 注⁽¹⁾ $P_1 = (1 - \frac{m_2}{m_1}) \times 100$
 注⁽²⁾ 骨材の損失質量分率 = $\frac{\text{各群の質量分率} \times \text{各群の損失質量分率}}{100}$

※試料は依頼者サンプリングの持ち込みによる。
 ※試料内容は依頼者の申し込みによる。

試験年月日		試料	種類		採取年月日	令和 年 月 日	
令和 年 月 日			産地		採取場所		
通るふるい	とどまるふるい	各群の質量 g	各群の質量分率 %	試験前の各群の質量 (m ₁) g	試験後の各群の質量 (m ₂) g	各群の損失質量分率 ⁽¹⁾ (P ₁) %	骨材の損失質量分率 ⁽²⁾ %
10 mm	5 mm						
15 mm	10 mm						
20 mm	15 mm						
25 mm	20 mm						
40 mm	25 mm						
合計							

備考 注⁽¹⁾ $P_1 = (1 - \frac{m_2}{m_1}) \times 100$
 注⁽²⁾ 骨材の損失質量分率 = $\frac{\text{各群の質量分率} \times \text{各群の損失質量分率}}{100}$

試験者 岩佐 龍治



試験責任者：谷 岡 貴 寿

【全国生コンクリート工業組合連合会認定項目】

粗骨材中に含まれる粘土塊量試験

新技セ(試) G 230055 号

試験方法	JIS A 1137		
技セ試験規格	B-9		
試験年月日	令和 5 年 3 月 31 日	令和	年 月 日
試料	種類	1505A	
	産地	日野郡日野町	
	採取年月日	令和 5 年 2 月 14 日	令和 年 月 日
	採取場所		
容器の質量	(g) ①	270	
容器と試験前の試料の乾燥質量	(g) ②	1326	
試験前の試料の乾燥質量	②-① (g) m_{D1}	1056	
容器と試験後の試料の乾燥質量	(g) ③	1325	
試験後の試料の乾燥質量	③-① (g) m_{D2}	1055	
粘土塊量	$\frac{m_{D1}-m_{D2}}{m_{D1}} \times 100$ (%) C	0.09	

備考

- ※試料は依頼者サンプリングの持ち込みによる。
- ※試料内容は依頼者の申し込みによる。
- ※試料は、JIS A 1103 による洗いの操作を行ったものを用いる。

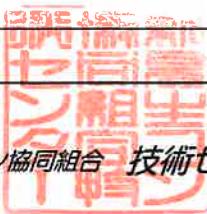
試験者 岩佐 龍治



新見生コン協同組合 技術センター

試験責任者：谷岡 貴寿

試験方法	JIS A 1121	【全国生コンクリート工業組合連合会認定項目】					
技セ試験規格	B-13	ロサンゼルス試験機による粗骨材のすりへり試験					
		新技セ(試) G230055 号					
試験年月日		令和 5 年 3 月 31 日			令和 年 月 日		
試料	種類	1505A					
	産地	日野郡日野町					
	採取年月日	令和 5 年 2 月 14 日			令和 年 月 日		
	採取場所						
試験条件	粒度区分	C					
	球の数	8					
	球の質量(g)	3332					
	回転数	500					
通るふるいの公称目開き(mm)	とどまるふるいの公称目開き(mm)	ふるい分けた各群の質量(g)	各群の質量百分率(%)	試験前の試料の質量[m ₁](g)	ふるい分けた各群の質量(g)	各群の質量百分率(%)	試験前の試料の質量[m ₁](g)
80	60						
60	50						
50	40						
40	25						
25	20	0	0	—			
20	15	309	8	—			
15	10	1810	48	2505			
10	5	1520	41	2502			
5	2.5	108	3	—			
合計		3747	100	5007			
試験結果の計算	試験後の試料の質量(¹) (g)	m ₂	4395				
	すりへり減量(²) (%)	R	12.2				
<p>備考</p> <p>注(¹) 試験後、1.7mmの網ふるいに残った試料の質量</p> <p>(²) $R = \frac{m_1 - m_2}{m_1} \times 100$</p> <p>※試料は依頼者サンプリングの持ち込みによる。 ※試料内容は依頼者の申し込みによる。</p>							
試験者	岩佐 龍治						



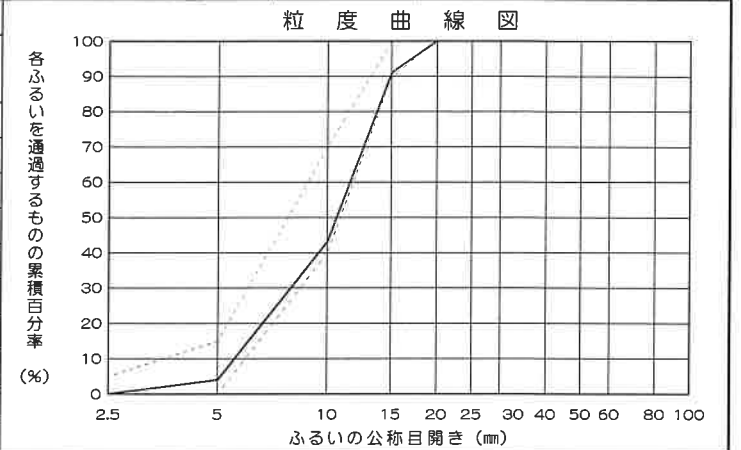
試験方法	JIS A 1102
技セ試験規格	B-1

【全国生コンクリート工業組合連合会認定項目】
粗骨材のふるい分け試験

新技セ(試) G230055 号

試験年月日	令和 5 年 3 月 29 日	試料	種類	1505A	採取年月日	令和 5 年 2 月 14 日
			産地	日野郡日野町	採取場所	

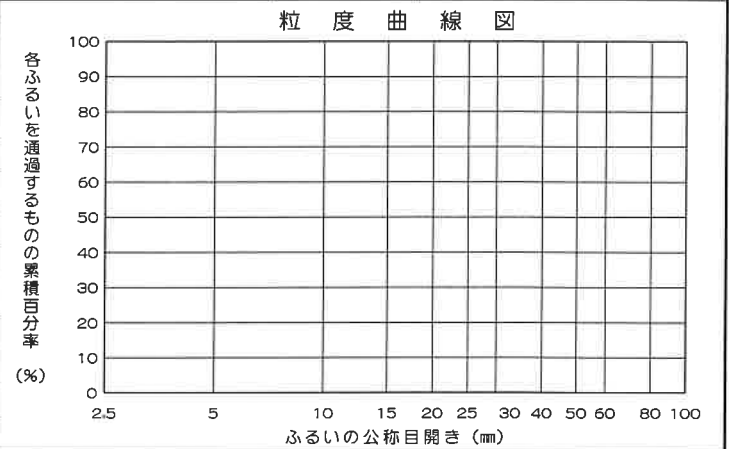
ふるい分け方法	手動	ふるい分け前の試料の質量(g)	3120		
ふるいの公称目開き(mm)	連続する各ふるいの間にとどまる質量(g)	連続する各ふるいの間にとどまる質量分率(%)	各ふるいにとどまる質量分率(%)	各ふるいを通過する質量分率(%)	
50					
40					
30					
25					
20	0	0	0	100	
15	280	9	9	91	
10	1504	48	57	43	
5	1209	39	96	4	
2.5	124	4	100	0	
受皿	3	0	100	0	
合計	3120	100			



備考 ・粒度範囲は、JIS A 5005による。
・試料は、微粒分量試験後の呼び寸法0.075mmに留まったものを使用。

試験前後の質量差(%)	0.00	粗粒率	6.53
試験年月日	令和 年 月 日	試料	種類
			産地
			採取年月日
			令和 年 月 日
			採取場所

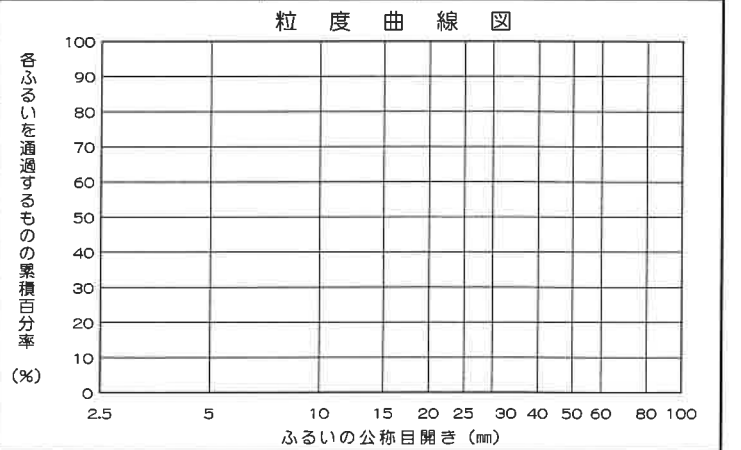
ふるい分け方法		ふるい分け前の試料の質量(g)			
ふるいの公称目開き(mm)	連続する各ふるいの間にとどまる質量(g)	連続する各ふるいの間にとどまる質量分率(%)	各ふるいにとどまる質量分率(%)	各ふるいを通過する質量分率(%)	
受皿					
合計					



備考

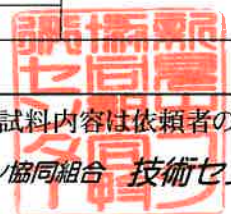
試験年月日	令和 年 月 日	試料	種類	採取年月日	令和 年 月 日
			産地	採取場所	

ふるい分け方法		ふるい分け前の試料の質量(g)			
ふるいの公称目開き(mm)	連続する各ふるいの間にとどまる質量(g)	連続する各ふるいの間にとどまる質量分率(%)	各ふるいにとどまる質量分率(%)	各ふるいを通過する質量分率(%)	
受皿					
合計					



備考

試験者 岩佐 龍治



※試料は依頼者サンプリングの持ち込みによる。 ※試料内容は依頼者の申し込みによる。 試験責任者：谷 岡 貴 寿